

# 工学院大学

## 「ものづくり支援センター」基本設計

所在地: 東京都八王子市

発注者: 学校法人工学院大学

期間: 2012~2013年

面積: 約6,900m<sup>2</sup>

業務概要: ものづくり支援センター基本設計

センターモール、ものづくりの社の  
ランドスケープデザイン

2011年に作成したキャンパス・マスタープランに基づいた「ものづくり支援センター」の基本設計。

ものづくり支援センターの屋上は、キャンパスの骨格をつくりだすセンターモールとしている。

センターモールを設けることで、東門バスロータリーからキャンパス・コアへの動線的・視覚的つながりを改善し、キャンパスの回遊性と求心力を高める、東西方向の骨格軸が生まれる。

センターモールらしい設えとして、学生の自由な集いの場となるベンチを設けたり、モール沿いの樹木をライトアップした。

センターモール全体はもとより、隣接する東門エントランス広場や既存のモミジ林の整備(もみじ山)を含めた提案とし、センターモール周辺の動線的・視覚的つながりを示唆している。

